

短歌 (投稿順)

非常時にとはばかりつつも子らよりの卒寿の祝い喜んで受く
孫子等の急成長を楽しみに限られし日々感謝で生きる
ものがたり読みつ、よぎる古へに心如何と紫式部
選挙カー来たか!と思ひ飛び出して手を振りやゴミの収集車
物事は「良きに解釈して生きよ」と老ふごと身に沁む母の言の葉
積る雪被る紅梅色悲し寒さに堪えて春まだ遠し
幼なきに亡母の仕立てしメリンスの着物虫に喰わるも捨て難し
赴任地の河津桜は今もなほ遠き歲月懐かしきかな
南岸の低気圧去り置き土産朝日は照らす薄雪の峰
高価なる高層ビルに住めないが首都の地震を心配してる
寺門の梅の花は咲きほこり巡礼夫婦足ゆるやかに
猫二匹二人の生活癒やしくれ日々を楽しく八十路坂行く
救急車血圧体温検査車内で朦朧タンカで入院
萩城下維新の志士を動かした松陰の教え今もここに
淋しさに打ちのめされてでも笑ふチューインガムを今は噛まぬが
五色巻教えてくるる「お店塾」店主惜しまず老舗の味を

三沢 眞下 杏子
皆野 根岸 詩子
皆野 萩原 初恵
皆野 大澤 貴夫
下日野沢 浅見 豊子
皆野 村田ハツ代
三沢 新井 叶子
三沢 新井 民子
皆野 打木 昭廣
上日野沢 四方田利男
国神 藤原マキ子
下田野 新井 節子
皆野 戸塚喜久雄
皆野 太幡琉美花
皆野 石原 達也
皆野 引間 万亀

俳句 根岸茉莉 選 投稿数 17句

どか雪に差すものさしに子の名前
(評)大雪注意報が出た今シーズンの初雪です。一夜明け朝日に輝く一面の銀世界は大作の絵画の様です。「雪の深きほどの位?」と差した物指に少し掠れた子の名があり、幼い頃の子どもの顔や、楽しかった日々を懐かしく思い出す作者です。情景が目に見え、そんな春陽の中、老人は大地に黙々と種をまいています。作者は今年退職される校長先生。皆野町を俳句の町にと生徒に俳句の種をまき、町報に欠かさず投稿して下さってありがとうございます。ご健勝をお祈りいたします。三句目、大切な一票の重さを胸に梅の香漂う道を投票所へ向かう作者です。清き一票が住み良い町につながりますように。

龍天に登る愚老は種をまく
皆野 小菅恭青史
一票の重みたずさえ春立つ日
皆野 根岸 詩子
道に駒積まれし堆肥春近し
皆野 藤原マキ子
旧友に想いを馳せる桜東風
皆野 石原 達也
戦場に平和を祈るイースター
皆野 萩原 初恵
西行忌我が内みつめたただ歩く
皆野 櫻井 早苗
百歳の叔母と歓喜す春炬燵
皆野 浅見 豊子
如己堂は二畳一間や東風荒らし
皆野 太幡琉美花
雪解けに夫潔く免許返納
下田野 新井 節子

曾祖母と呼ばれる身ひとり鬼遣ひ
三沢 新井 叶子

令和6年能登半島地震災害義援金

義援金 242,382円

※皆野町社協取扱い分(令和6年2月29日現在)

受付 役場・長生荘
問合せ 町社会福祉協議会 ☎62-4615